

病害虫防除技術情報第 12 号

平成 31 年 3 月 20 日

三重県病害虫防除所

本年はコムギの開花が早まる予想です。

コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1. 対象作物：コムギ
2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
3. 生育状況と出穂期の予測

本年のコムギの生育は昨年から気温が高く推移したことから、**出穂期は平年より早く**、11月上旬播種のもの、出穂期が特に早く予想されています。

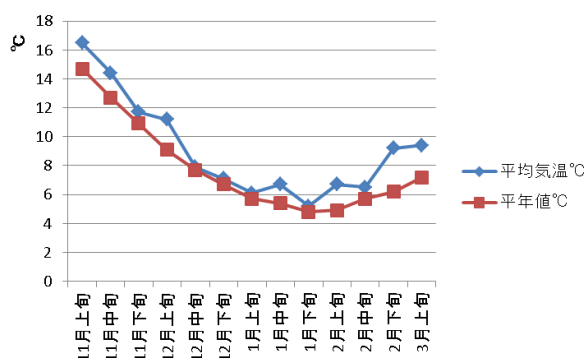


図 旬平均気温の推移(津)

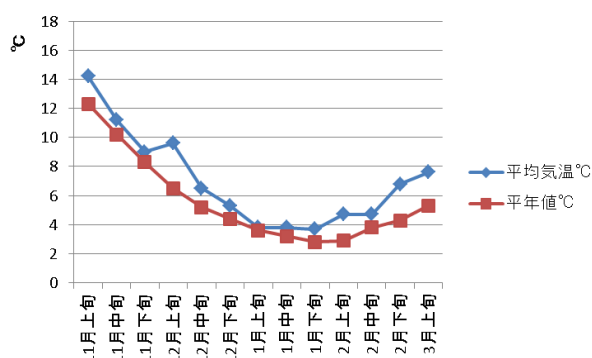


図 旬平均気温の推移(上野)

1か月予報(3月14日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ、向こう1か月の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高くと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策

- (1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。
- (2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。コムギの開花は出穂期の約7~10日後です。
- (3) 薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、追加防除を行きましょう。

(参考)「明和町において、11月1日播種のニシノカオリが3月11日に出穂始め」

(3月14日病害虫発生予察情報会議コメントより)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。